

ステアリングダンパーステーセット 取扱説明書

製品番号 06-01-0026

適応車種 KSR110 (KL110A-000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品は、弊社製別売のステアリングダンパー（125ストローク）：06-01-0070 及びステアリングダンパー TYPE-1：06-01-300 専用のステアリングダンパーのステーキットです。他のステアリングダンパーには使用出来ません。
- ◎分解、組み付け作業は、適応車種の純正用サービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。
- ◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
取り付けに経験の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は、取り付け作業は行わずに指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎ステアリングロック時、ダンパーロッドとロック本体の隙間が少なくなる為、ダンパーロッドに傷を付けないよう十分注意して下さい。
- ◎ステアリングにガタがある等正しくメンテナンスがされていない場合、ステアリングダンパーの性能が発揮出来ません。正しくメンテナンスを行って下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。
- ◎弊社製ビッグキャブレター装着車両専用です、ノーマルキャブレター車両には取り付け出来ません。
- ◎輸入車両の KSR110 (KL110GBF/DDF/JKAKL110CCD)/KSR PRO (KL110EEF) には取り付け出来ません。
- ◎取り付けには、シュラウドスクリーンの1部を加工する必要があります。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- 走行中は、危険ですので絶対にステアリングダンパーの減衰力調整は行わないで下さい。調整は、車両が停止状態の時に行ってください。（事故に繋がる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容

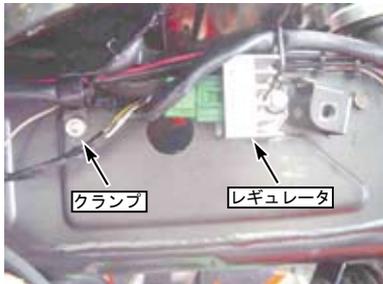


番号	部品名	数量	リペア品番
1	ダンパーステー	1	00-06-0134 (ソケットキャップスクリュー付)
2	ダンパーホルダー COMP.	1	53731-KL1-T00
3	ダンパーホルダーステー	1	53732-KL1-T00
4	カラー A	1	53735-KL1-T00
5	カラー B	1	53736-KL1-T00
6	カラー C	1	43513-GEF-T00
7	ソケットキャップスクリュー 6x15	1	00-00-0718 (5ヶ入り)
8	ソケットキャップスクリュー 6x25	2	00-00-0722 (5ヶ入り)
9	ソケットキャップスクリュー 6x30	2	00-00-0090 (5ヶ入り)
10	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x25	1	00-00-0139 (5ヶ入り)
11	ソケットキャップスクリュー 8x65	1	00-00-0813 (3ヶ入り)
12	プレーンワッシャ 8mm	1	00-00-0076 (10ヶ入り)
13	ブラケット	1	33450-165-T00

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

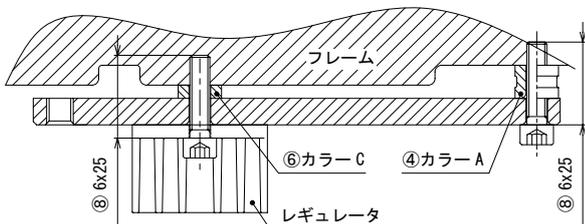
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 水平で安全な場所で車両を安定させる。
- スクリュー、ボルトを取り外し、シュラウド、シュラウドスクリーン、ホーンを取り外す。
- ボルトを取り外し、レギュレータ、クランプを取り外す。



- レギュレータ、クランプを取り付けていたボルト穴に、③ダンパーホルダーステーを④カラーA、⑥カラーC、⑧ソケットキャップスクリュー6x25で規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x25
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

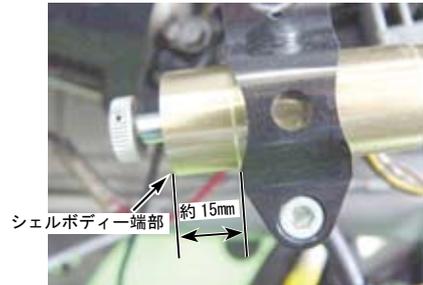


- 別売のステアリングダンパーに②ダンパーホルダーを指定の位置で⑦ソケットキャップスクリュー 6x15で規定トルクで締め付ける。(下記を参考にすること)

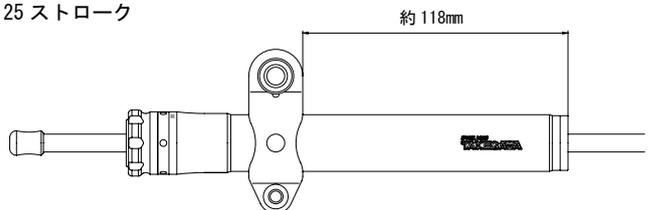
※ステアリングダンパーキット同梱のホルダーは使用しません。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x15
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

06-01-300
タイプ1



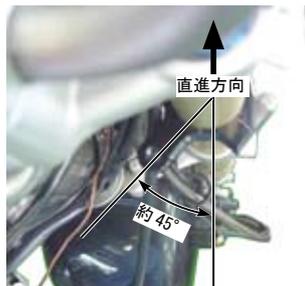
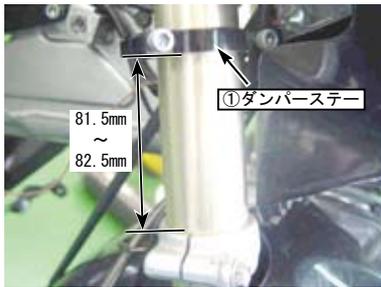
06-01-0070
125 ストローク



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

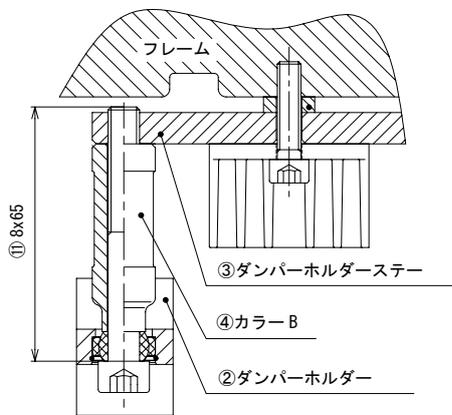
○R. フォークに①ダンパステーを⑨ソケットキャップスクリュー 6x30で規定トルクで締め付ける (写真を参考にすること)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 6x30
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



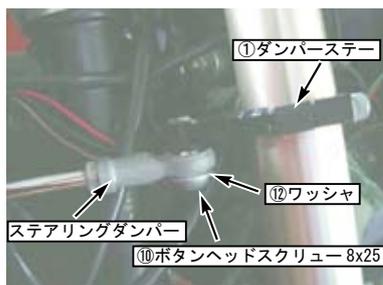
○②ダンパーホルダーを⑤カラーB、⑪ソケットキャップスクリュー 8x65で規定トルクで締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー 8x65
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



○ステアリングダンパー本体のロッドエンドを①ダンパステーに⑫ワッシャ、⑩ボタンヘッドスクリュー 8x25で規定トルクまで締め付ける。

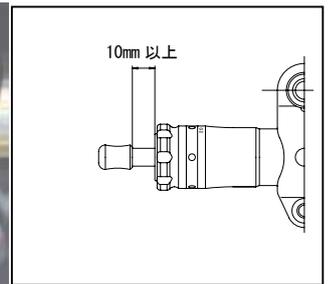
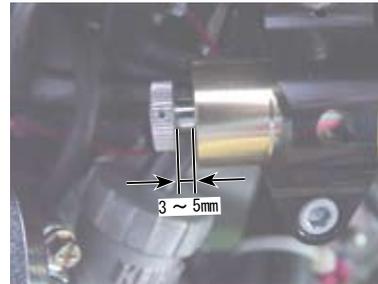
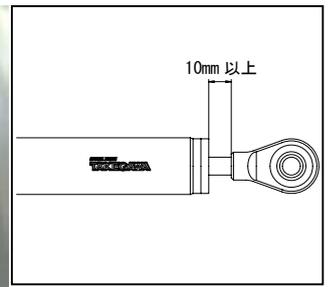
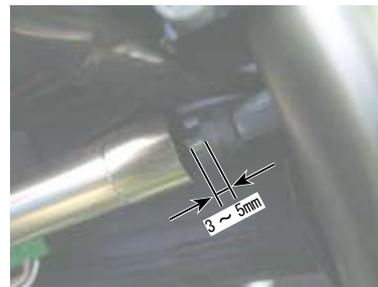
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー 8x25
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○ステアリングを左右一杯まで切った状態で、ステアリングダンパーと各部分にクリアランスがある事、ステアリングダンパーのストロークに余裕がある事を確認する。

06-01-300
タイプ1

06-01-0070
125 ストローク



○ステアリングを一杯切った状態で各部にクリアランスが無い場合や、ステアリングダンパーのストロークに余裕が無い場合は、再度各部の調整を行う事。

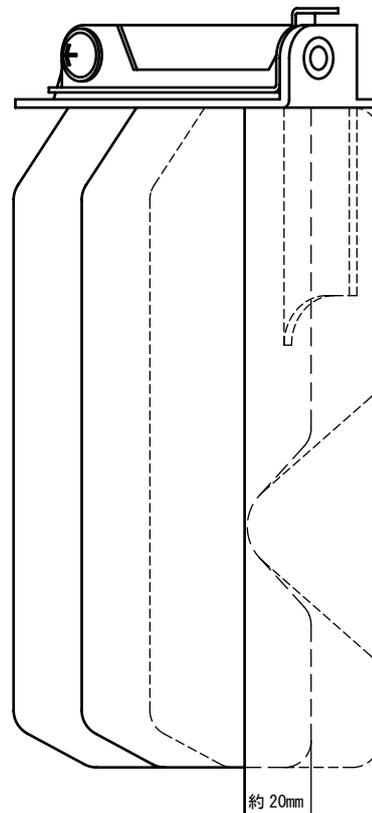
○ホーンを⑬ブラケットを使用し、ステム等に取り付ける。

○取り外したシュラウドスクリーンをステアリングダンパーと干渉しないように、加工を行う。

フレームから

1 枚目のフィンは全て落とす。

2 枚目のフィンは図の様に約 20mm 程加工する。



○シュラウド、シュラウドスクリーンを取り外しと逆の手順で組み付ける。